
おおかみかくし～The story of another world～

you

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おおかみかくし The story of another world

【Nコード】

N1888Y

【作者名】

you

【あらすじ】

じょうがまち
「嫦娥町」

おおかみさま
山間にあるその町には、大神様と呼ばれる神様が祀られていた。これは、大神様とそれに関する者たちの、不思議なお話。

※竜騎士07様作「おおかみかくし」の二次創作です。

それ系が嫌いな方、かなちゃんはこんな子じゃない！等、かなりのキャラ崩壊が予測されますので危ないと感じられたら、速やかに戻

るを押すことをおすすめします。

この作品を通して、おおかみかくしを知って頂ける、プレイして頂けると嬉しく思います。

m () 。 | 。 () m

Prolog (前書き)

はい、突発性小説見切り発車症候群の影響です↑

おおかみかくしをプレイして、とある分岐がないことに気がつきまして……。

——じゃあ自分で創ればいいんじゃない？

という結論に達しました↑↑↑

なるべく原作の世界観を壊さない様にしたいのですが、どうしてもオリジナルが入るので、キャラ崩壊が予測されます。

生暖かい目で見守ってください。。。

P r o l o g

——違う。私が望んだのは、こんな世界じゃない。

真っ黒の空間。周りが全く目視出来ないほどの暗闇。

目を閉じて、ふわふわと浮かんでいるモノは、少女の声でそう呟いた。

この空間には、地面という概念が存在せず、浮かんでいるという表現が正しいのかはわからないが。

——ずっと……ずっと『彼等』を見守ってきた。私が望む世界を作り上げてくれると信じて。

——でも、もう……我慢できない。私はこんな事を望んではいなかった……！ ならば、全てを終わらせる。それが、『彼等』を生み出した私の責任。

そのモノは、両手を重ね、目の前を掬うように、ゆっくりと持ち上げる。その手の中に、微かに光る欠片が現れた。

——刻は満ちた。赤く輝く月と共に。足りない力は大地から少し借りたために、今年の八朔は不作になるでしょうけど……『彼等』を滅ぼすのであれば、もう関係のない事ね。

少しずつ、欠片の光量が増していく。

ゆっくりと目を開けて、言う。

――さあ、終わらせましょう。全てを。

両手から閃光が走り、その姿はかき消えた。

P r o l o g (後書き)

わかる人にしかわからない! ↑
な、なるべく始めての方でも分かりやすいように書いていきたいで
す。。。

始まりの朝（前書き）

しばらく説明が続く予感……。

始まりの朝

「うー、今何時だ……？」

朦朧とした意識の中、枕元に置いた目覚ましを、手探りで探す。目覚ましの形は、かなりオードソックスなタイプで、二つの鐘のがついているものだ。その鐘の片方に指が触れる。

ようやく見つけた目覚ましを、仰向けの状態で目の前に持ってきた。

「うええ……、まだ起きるまで30分もあんのかよ。もうひと眠りし——」

ポロリと、俺の手元は嫌だと言わんばかりに、目覚ましが無視し、自由落下を始める。

それは端から見れば一瞬の出来事。

しかし俺には、スローモーションで迫ってくる目覚ましだが、数秒にも、数分にも感じ——

ゴッ！！

見事に、鐘の部分にヘッドバットをかまされた。

「~~~~~~~~っ?!?!?」

本気で痛いときは、声が出せないって言うけど、あれはマジだと体感した。

悶絶する俺。気が付けば、土下座をするような格好でおでこを押

さえていた。

「うおおお……死ぬるうう……」

時間と共に痛みがマシになり、その分、言い様のない怒りが沸き上がってくる。そして、その矛先は当然、目覚ましへと向かう。

「ったいわぼけえっ！」

それを掴み、放り投げる。わりと全力で。

勢いよく飛んでいった目覚ましは、机に当たり、ガシャンと音をたてて碎ける。

「――はっ!？ し、しまったあああっ！」

だが、時すでに遅し。

目覚ましを慌てて拾いに走るが、それは只の鐘がついた物体へと成り果てていた。

「ううう、最悪だ……」

一人暮らしの俺にとって、目覚ましの重要度はかなりのものだ。

あれがなければ、俺は一瞬で社会的信用を失うだろう。

……まあようするに、遅刻確定だと言うことだ。

時計がない状態で、今から二度寝などをしてしまえば……。

転校初日から、教師に目をつけられる可能性があるのは、さすがにいけない。

俺は渋々、こんな早朝から、学校に向かう準備をするのだった。



俺の名前は九十九優理。しがない高校生だ。容姿は中の上くらいだろうと思う。

両親は、もういない。高校に入学してすぐくらいに事故で亡くなり、親戚の家に引き取られた。

だが、親戚の魂胆は最初からわかっていた。

――遺産。

高校生にもなれば、それくらいの事は感じ取れる。

だから俺は、一人暮らしのできる所を探していた。親戚の手を借りず、一人で生きていくために。

そんな折、まさにうつつつけの話が飛び込んできた。

都心から離れた山間にある町、じょうがまち嫦娥町。

ここでは昨今、都市開発が進められており、今なお人口は増え続けている。

そんな情勢もあってか、1Kのアパートが、風呂・トイレ別であるにも関わらず、家賃二万円という破格の値段で、入居者を募集している、と。

もちろん俺は、即電話をかけ、大家さんに家庭の事情を話すと、快く入居を許してくれた。

親戚には、遺産の半分を譲ることで無理矢理納得させ、嫦娥町にある高校に転入手続きをすませた。

こうして俺は、晴れてこの嫦娥町に引っ越して来ることが出来た

の
だ
っ
た。
。

始まりの朝（後書き）

さて、次からメインヒロイン達の登場……！？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1888y/>

おおかみかくし～The story of another world～

2011年11月4日10時06分発行